

素波里ダム周辺での現地調査と動物の痕跡調査

平成30年3月8日(木)

- 来年度のふれあい推進事業の予定地調査を本日実施しました。併せて動物の痕跡調査も行いました。
- 素波里神社付近の不動滝は、時々ぬかるんでいましたが、歩いて踏査しました。滝の周辺は「つらら」があり、流れる水量の滝壺の雪は光の屈曲で水色にそまっています、とても神秘的でした。素波里神社は雪があり、大きな天然秋田杉と大きなモミの木があり、タヌキの足跡も見られました。

また、不動橋から見た滝は、上からの目線で少し違った滝の形が見られました。
- 素波里ダム周辺は凍っていて水墨画をみるようです。スノーシューで素波里ダム周辺を踏査しました。今年はいつもとより雪が3月に入ってから降っているために、表層部に小さな雪崩によるアンモナイト型の雪が見ることが出来ました。野ウサギとみられる足跡やニホンタヌキ、テン等の痕跡が見られましたが、ニホンジカの痕跡は確認されませんでした。

それと、野ウサギの食痕あとと見られる灌木などがありました。
- 融雪している所では、バツケが咲いて春の足痕が近づいていました。
- 森林基幹道米代線の林道のそばの林では秋に作られた「クマ棚」が見られました。
- 残雪をスノーシューで歩くと、冬ならではののもしろい体験や発見がありました。

素波里ダム周辺と不動滝



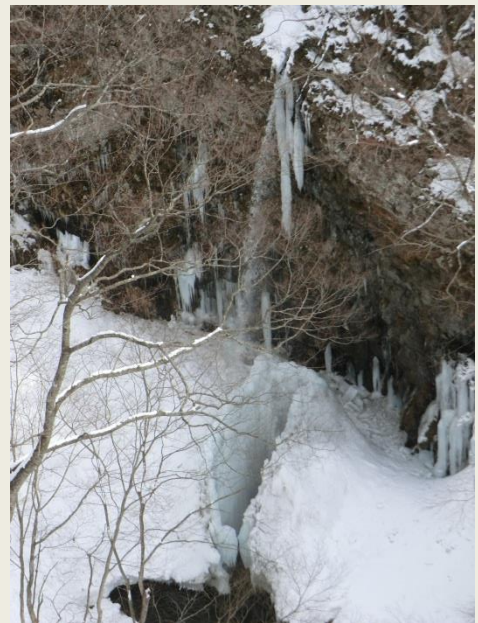
不動滝



素波里神社



不動橋から



不動橋から見た不動滝



素波里ダム



タヌキの足跡?



アンモナイトの雪景



バツケ



野ウサギの食痕



テンの足跡



クマ棚